

# 令和5年度 第2回学校評議員会記録

滑川市立寺家小学校

12月12日(火) 16:00~17:00 校長室

[参加者] 松井教育振興会会長 山西富山大学名誉教授 水井東地区公民館館長  
玉田読書ボランティア  
広田校長 此川教頭 小川教務

- 1 委嘱状交付
- 2 学校長あいさつ
- 3 本校の取組について
  - (1) 前回の議事録から
  - (2) 今年度の取組 (学校行事等)
  - (3) アクションプランについて
  - (4) 今年度の学校評価について
- 4 懇談 (以下の「・」は、学校からの話題 「○」は、評議員の方々の意見等)

## アクションプランについて

- 図書の貸し出し数が思ったよりも少ない。
  - ・休み時間の貸し出しが中心で、水・金の朝が特に混んでいる。
- 子供たちが目標設定に関わっており、自律的な学びの姿がある。協働的に何かが出来たという経験につながる。さらに、「何のためにやっているのか」ということを子供に分かるようにするとよい。読書で読んだものを絵で表現したり、タイピングを生かして読書感想文を書いたりするなど、活動を広げるとよい。
- 挨拶は、学校内の挨拶を中心に考えているので、地域での挨拶も広がるとよい。
- 早寝早起き、朝ご飯を大切にしてほしい。生活習慣の乱れにつながらないように、例えば、タブレットを使う時間を決めるとよい。
  - ・タブレットルールを決めて、1年生から実施している。ルールは、家庭と相談して決めている。2月には、山西先生に講演をお願いしている。
- タブレットの利用について、いどこにアクセスしたか記録が残ることを確認しておきたい。
- PISAの調査では、日本はネットの利用に関する項目が最下位。
  - ・興味、関心を高めるには、面白さがエネルギーになると考える。
- タブレットを用いたAIドリルや外国語の学習における活用状況はどのようになっているのか。
  - ・AIドリルについては、昨年度から導入して活用している。また、外国語での活用については、台湾交流 (交流開始から9年目) の際に、インターネットでつないで活用している。

## 寺家っこまつりについて

- 最後尾に立って整列させる児童がいるなど、役割をはっきりさせて取り組んでいた。
- ものを売る大変さを学べる。また、社会の仕組みを学べる。
  - ・ハンドメイド、フランクフルト、フルーツポンチなど、子供が扱えるものを中心に販売していた。ゲームセンター (タブレットで作成したプログラミング活用したもの) があるとよかった。

## その他

- 中学校ではタブレットをあまり使っていない。小学校との差を感じる。
- 公民館主催の秋祭りにたくさんの子供たちが来てくれてうれしかった。
- コロナ以降、地域の行事が少なくなってきた。地域のことをする大人がいることを知ってほしい。